

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 2年 3月 3日

事業所名

児童デイサービス 十彩

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		確保できています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		基準値の職員配置は行っています。	人員配置は適切に行い、児童発達支援管理責任者、児童指導員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		介助が必要な場合は行っています。	現在必要な児童はいないも必要な児童が利用の際には考慮します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃を行いチェックリストをつけています。	今後も継続を行います。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月のカンファレンスを行っています。	今後もカンファレンスを継続し業務改善に努めます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者に評価表を実施を行い業務改善に努めています。	職員全員で検討を行い改善につなげています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページと事業所玄関に掲示し保護者がいつでも閲覧できるように行っています。	事業所玄関に掲示しご家族様が閲覧できる旨のお知らせを配布します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	○	第三者による評価は行っていません。	今後は検討していくも、現在は予定していません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月研修を行い記録を残しています。	今後も継続を行います。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		6ヶ月に1度のモニタリングを行っています。	今後も継続を行います。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		計画書更新の際には再アセスメントを行っています。	今後も継続を行います。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者のニーズ、相談事業所の計画書に沿って児童発達支援計画書の作成を行っています。	今後も保護者のニーズ、相談事業所の計画書に沿って作成しています。具体的な支援内容を設定しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		カンファレンスで情報を共有できている。	児童利用日に支援内容の確認が来ています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員で話し合い立案を行っています。	今後も継続を行います。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		多彩な活動内容になっています。	今後も活動に変化を持たせたプログラムを作成し、実施しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		保護者のニーズ、相談事業所の計画書に沿って作成しています。	日々の子供の状況に応じて個別活動、集団活動に変化を持たせています。

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝の朝礼にて、その日の活動の内容を周知しています。	その日の利用児童によって支援内容の確認を継続していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		後の打ち合わせは行っていないも、翌日の朝礼時に振り返りを行っています。	今後も支援内容、児童の様子をノートに記載していく、カンファレンス、モニタリングの際に活用を行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日の記録は行っています。	細かな様子が記録に記載出来るよう行っています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に1度のモニタリングで行っています。	今後も継続を行います。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。	今後も継続を行います。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		相談所が仲介に連携は取れています。	今後も継続を行います。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		重度心身障がい者はいませんが連携医療機関との連携体制は整えています。	受け入れ予定があった際には連携を図ります。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な児童はいませんが、連携医療機関との連携体制は整えています。	連携医療機関がある為、今後も連携を取れるように行います。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		支援内容の情報共有は行えています。	今後も継続を行います。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		支援内容の情報共有は行えています。	今後も変化がある際には密に情報共有を行っていきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		子供部会で情報の共有、研修が行われ参加しています。	今後も継続を行います。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	保育所、認定こども園、幼稚園等との交流はありませんが、地域の児童との交流はあります。	今後も地域の児童との関わりを持てる活動を企画しています。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		子供部会に出席しています。	今後は積極的に地域の児童との関わりに参加出来るよう行います。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際に保護者と情報を共有しています。	今後も継続を行います。
		㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		ご家族支援として、相談を行っていますがペアレントトレーニング等は行えていません。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に行っています。	今後も継続を行います。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約後、利用前には行っています。	今後も継続を行います。

保護者との説明責任等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎の際に保護者と情報を共有し必要であれば相談等の支援を行っています。	今後も継続を行います。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会はありません。	今後は希望があれば検討いたします。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に行えています。	相談等があった際には支援計画書に反映できるように職員とカンファレンスを行い対応をしています。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月通信として日々の様子を発行、配布しています。	今後も継続を行います。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		カギがついている書庫に保管しています。	今後も継続を行います。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		クレーン現象にて要求する児童がおり配慮しています。	送迎の際にご家族様に、意見をお伺い出来るよう普段からご家族とのコミュニケーションに配慮しています。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		行事の際には地域の児童に声を掛け参加ができるよう配慮しております。	今後も継続を行います。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルがあり定期的に研修を行っています。	緊急時対応については地震を想定した訓練を行っている。今後も継続して行きます。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の避難訓練を行っています。	今後も継続を行います。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約の際に確認を行い予防接種に関しては行った際に伝えて頂いています。	今後も継続を行います。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーが強い児童にはかかりつけ医に指示を受けています。	今後も継続を行い変化がある際には密に情報共有を行っています
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを綴り職員が閲覧できるようにしています。	定期的な研修、会議にて案件があれば行うようにし記録にも明記します。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を行えています。	今後も継続を行います。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		前例がありません。	前例がなく今後も行うことはありません。やむを得ない場合については、職員、保護者と協議を行います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。